

別紙1 審査項目1・2・3の評価基準

評価項目		評価の着眼点	評価の割合	小計
		判定基準		
業務経歴	同種又は類似業務の実績 (実績の有無、件数)	過去の実績(3件)を下記の順位で評価する。 ① 同種業務の実績がある。 ② 類似業務の実績がある。 なお、業務実績がない場合は評価の対象としない。 ※ 3件の中からハイポイントの1件を記入	①=5 ②=3 なし=0 5	10
	地域実績	和歌山県内で業務実績がある場合に評価する。 ※ 3件の中からハイポイントの1件を記入	5	
経営状況	流動比率	直近の流動比率を下記の順位で評価する。 ① 200%以上 ② 100%以上、200%未満 ③ 100%未満	①=5 ②=3 ③=0 5	5
価格の適正	見積価格	見積価格を以下の方法により点数化する。 ① 見積価格が上限の90%以下 ② 見積価格が上限の90%超～92%以下 ③ 見積価格が上限の92%超～94%以下 ④ 見積価格が上限の94%超～96%以下 ⑤ 見積価格が上限の96%超～100%以下	①=15 ②=12 ③=9 ④=6 ⑤=3 15	15
小計			30点満点	

別紙2 審査項目4の評価基準

評価項目	評価事項	評価基準点				
		極めて 良好	良好	普通	やや 不十分	不十分
業務に対する理解	本業務の専門性、保育水準を適切に理解しているか。	10	8	6	4	2
指導員の配置、雇用	従業員の配置は安全的に業務を行えるものとなっているか。長期休暇中の指導員確保、指導員の休暇確保についてしめされているか。	10	8	6	4	2
指導員の研修計画	指導員の研修を適切に行えるものになっているか。県主催の研修への参加計画は適切か。	5	4	3	2	1
危機管理	危機管理体制が適切に構築されているか。事故発生時の対応、事故防止の取り組みは妥当か。	10	8	6	4	2
学校等との連携・協力・交流	学校、保護者、地域等との連携、交流の取り組みが示されているか。	10	8	6	4	2
適切な保育の実施	保育の実施方法は児童に適切な保育と遊びの場を提供できるもので、かつ実現性があるか。	10	8	6	4	2
質問に対する適正	質問に対する応答が明朗で、かつ迅速であるか。	5	4	3	2	1
全体評価	プレゼンテーションにおける取組姿勢は適切か。	10	8	6	4	2
小計		70点満点				